



自動車リサイクル促進センター

「地球環境イベントかながわエコ 10 フェスタ 2018」に出展

5月26日～27日 会場「横浜公園」にて

自動車リサイクルの取組を紹介

イメージキャラクターの“自動車リサイクル博士”も登場！

公益財団法人自動車リサイクル促進センター（所在地：東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館、代表理事：郡 篤孝 以下、「JARC」）は、5月26日（土）～27日（日）、横浜公園（神奈川県横浜市）で開催される「地球環境イベント・かながわエコ 10 フェスタ 2018」に出展いたします。



自動車リサイクル博士

JARCは、今回の出展を通して、自動車ユーザーが負担しているリサイクル料金の使われ方や循環型社会に向けた関係者の取組や成果を、パネルや動画で紹介すると共に、実際にリサイクル工程で回収された金属などを展示するコーナーを設け、正しく、学ぶことができる場を用意しています。

会場には自動車リサイクルのイメージキャラクター 自動車リサイクル博士（通称：「博士」）も駆けつけ、来場者の方と交流します。

アンケートに回答いただいた方には数量限定で JARC オリジナルエコバックをプレゼントいたします。この機会に、ぜひ“博士”にあって、自動車リサイクルについて学んでみませんか。



エコバック

- 名称： 地球環境イベント・かながわエコ 10 フェスタ 2018
- 会場： 横浜公園（神奈川県横浜市）
- 会期： 2018年5月26日（土）～17日（日）
*26日 11：00～17：00、27日 10：00～16：00
- 入場料： 無料
- 主催： かながわ地球環境保全推進会議（神奈川県環境農政局）

➤ 展示ブース概要

- ・自動車リサイクルに関するパネル展示
- ・動画放映（おしえて！自動車リサイクル）
- ・自動車リサイクルの実物展示（フロン、エアバック、シュレッダーダスト etc.）
- ・着ぐるみ（博士）との交流

➤ 自動車リサイクルシステムについて

国内では年間約 310 万台（2016 年度）の使用済自動車が発生し、2005 年 1 月に発足した自動車リサイクルシステムのもと、自動車メーカーや関連事業者などの自動車リサイクルの関係者が適正なリサイクルの取組を進めた結果、使用済自動車のほとんどがリサイクル。

クルマはこうやってリサイクルされるんです

ユーザーはクルマを買うときリサイクル料金を支払います。

ながーく大切に買った愛車もいつかは使わなくなります。

ユーザーが使わなくなったクルマを引取業者に引き渡します。

クルマのボディをシュレッダー機で破砕します。

使える部品を取り外して中古部品として使います。

フロン類を抜き取って破壊します。エアバッグ類を安全に取り外します。

金属を原材料に戻してリサイクルします。残ったプラスチックやゴムなども原材料に戻したり熱源として再利用します。

新車

リサイクルの流れ

リサイクル料金を使って処理する 3 物品について

（ユーザーが支払ったリサイクル料金で特別に管理する物品）

シュレッダーダスト

クルマから有用な部品や金属資源などを回収した後のクズ（プラスチックやゴムなど）をシュレッダーダストといいます。シュレッダーダストを更に原材料に戻したり、熱源として再利用します。

フロン類

カーエアコンに使用されるフロン類は、オゾン層破壊や地球温暖化など環境によくない影響があるので大気放出を防ぐ必要があります。フロン類を回収した後、高熱で燃やして無害化します。

エアバッグ類

エアバッグ類には爆発性のあるガス発生剤が使われているので、クルマのリサイクルでは安全性を確保する必要があります。エアバッグ類を回収した後、金属部分を原材料に戻してリサイクルします。

➤ 公益財団法人自動車リサイクル促進センター（JARC）について

自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種事業を行うことにより、資源の有効な利用の向上及び環境の保全に貢献することを目的とする公益法人。

所在地	: 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階
設立	: 2000 年(平成 12 年)11 月 22 日
理事長	: 郡 嶋 孝
自動車リサイクル法指定法人業務の主務官庁	: 経済産業省、環境省
URL	http://www.jarc.or.jp/ 



お問い合わせ先：自動車リサイクルシステム **コンタクトセンター**

☎ 050-3786-7755 平日 9:00~18:00（土日祝日・年末年始を除く）

（メディア関係者様のお問い合わせ先）

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
 広報・理解活動推進室
 電話：03-5733-7144